

科目名 オホーツク水産生物学特論(二) (2単位)

担当者氏名 渡邊 研一

◆学習・教育目標

世界の人口は60億を越え、今後、地球規模で食糧不足が起こる可能性は高い。したがって、効率的な食糧生産技術の開発が望まれている。水産養殖学は水産資源生物の繁殖や育成およびその環境を積極的に管理して、最終生産物まで育成する技術に関わる学問で、水産増殖とは相互に関連した学問領域である。本特論では、水産資源動物の生殖特性などの生命現象や育成環境について理解を深め、育種や種苗生産に係わる養殖学全般について考究する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

増養殖 繁殖	無脊椎動物 病原生物	脊椎動物	海藻類
-----------	---------------	------	-----

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～2回	魚類 (渡邊)	魚類の生育環境、生理学特性、生活史、繁殖について学習する。	魚類について、その生物学特性を理解する。
3～4回	軟体動物 (渡邊)	軟体動物の生育環境、生理学特性、生活史、繁殖について学習する。	軟体動物の生物学特性を理解する。
5回	甲殻類 (渡邊)	甲殻類の生育環境、生理学特性、生活史、繁殖について学習する。	甲殻類の生物学特性を理解する。
6回	棘皮・原索動物 (渡邊)	棘皮・原索動物の生育環境、生理学特性、生活史、繁殖について学習する。	棘皮・原索動物の生物学特性を理解する。
7～8回	海藻類 (渡邊)	海藻類の生育環境、生理学特性、生活史、繁殖等について学ぶ。	解する意の生物学特性を理解する。
9～15回	病原生物 (渡邊)	病原ウイルス、細菌、菌類、原生動物、寄生虫などは水産増養殖に多大なダメージを与えることから、これらの生育環境、生理学特性、生活史、増殖・繁殖について学習する。	病原生物の生物学的特性を理解する。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

最初の講義のときに示す。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

最初の講義のときに示す。

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

レポートを100%として評価、出席状況を加味する。

◆その他受講上の注意事項

なし